

# 滝川市文化財保護審議会議事概要

令和4年度 滝川市文化財保護審議会 議事概要

日 時	令和5年3月24日（金曜日） 午前10時25分～午前11時10分
開催場所	滝川市美術自然史館 会議室
出席者	委 員：大竹会長、高石副会長、高谷委員、平手委員 事務局等：今美術自然史館館長、永井美術自然史館係長、村澤美術自然史館主任主事、河野美術自然史館学芸員
議 事	<p><b>開 会</b></p> <p>1 会長あいさつ 新型コロナウイルスが少しずつ下火になってきている。早くゼロ近くになってほしいと思う。ＷＢＣも優勝した。今後も良いことが続いていくことを祈っている。</p> <p>2 報告事項（一括報告） (1) 滝川市指定文化財の活用について（北海道人造石油株式会社滝川工場関係資料） (2) 「セイコーマート滝川本町店」への歴史パネルの設置について ※報告済みとして了承</p> <p>3 その他 事務局：次回の審議会において、滝川市指定文化財に指定されている「太郎吉蔵（旧五十嵐酒造店倉庫）」について協議させていただくことを予定している。 委 員：行政の敷地内に石碑が結構な数建っており、期成会などの建立者（管理者）がいなくなっているケースもあると思う。そういう場合、取り壊しだとか移転だとか、そういう考え方は市で定まっているのか。 事務局：特に定まっているものはない。当然市としてすべてを管理できるものではないので、ケースバイケースになる。 委 員：そういった民間で作った石碑などについては、今後、後継者や所有者が変わっていくと思う。そうした場合、次にだれが責任を持つのか、次の世代にどうやってこういった財産を引き継いでいくのかが大事になるし、大きな課題であると思う。 事務局：逆に民有地に市の石碑が建っている場合もある。当然、建てるときに所有者の許可を得ているが、子の代、孫の代になり歴史がわからないと家を建て替えるときに邪魔だから撤去してほしいと言われるケースも出てきている。そういう歴史をどうやって次世代に伝えていくかも課題である。</p>